

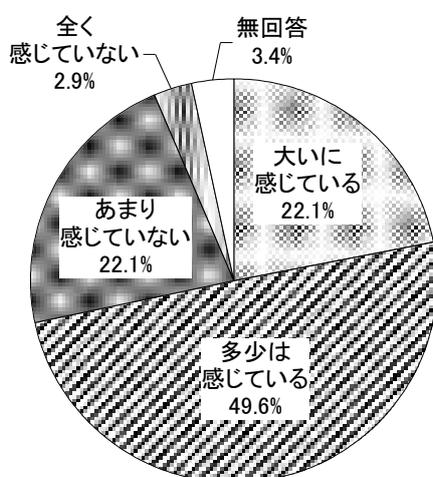
6 食の安全・安心について

(1) 食品の安全性に対する不安

問23 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか。
次の中から1つ選んでください。

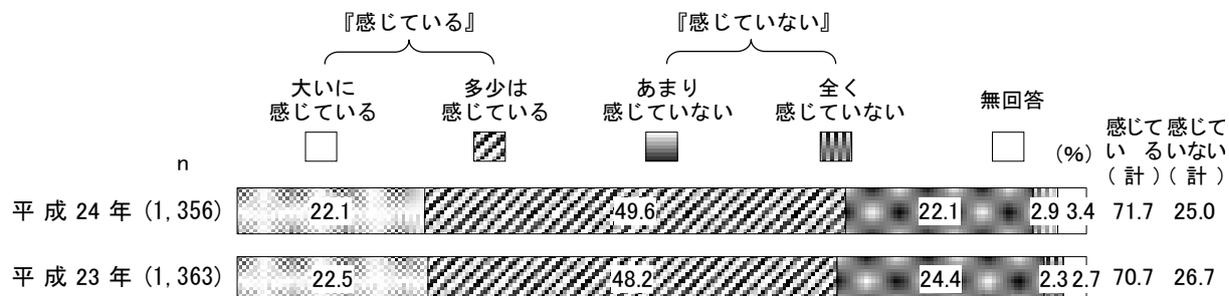
[n=1,356]

1	大いに感じている	22.1%	3	あまり感じていない	22.1%
2	多少は感じている	49.6%	4	全く感じていない	2.9%
				(無回答)	3.4%



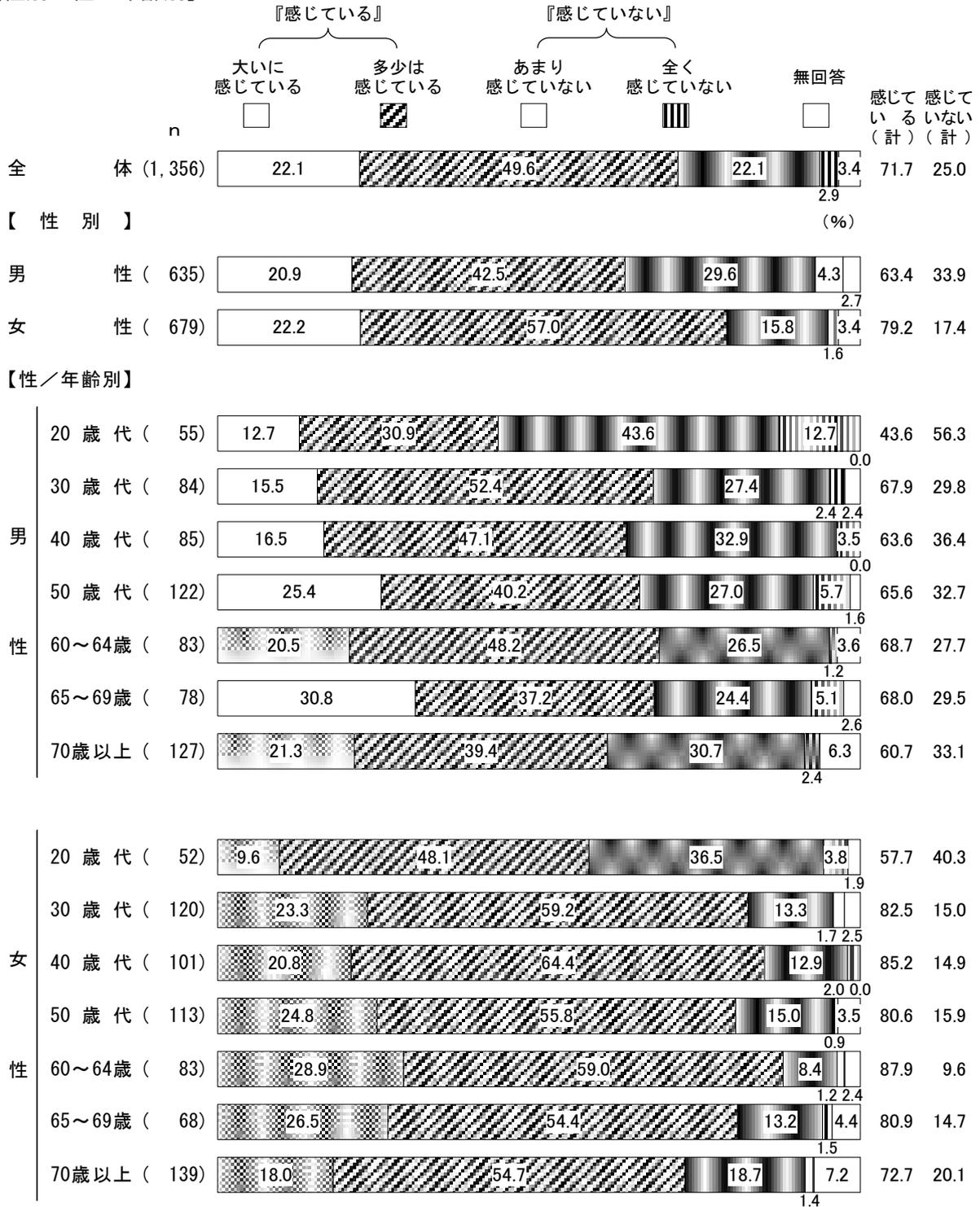
(n=1,356)

全体で見ると、「大いに感じている」(22.1%)と「多少は感じている」(49.6%)の2つを合わせた『感じている』(71.7%)は7割を超えている。一方、「あまり感じていない」(22.1%)と「全く感じていない」(2.9%)の2つを合わせた『感じていない』(25.0%)は2割半ばとなっている。



前回(平成23年)の調査結果と比較すると、ほぼ同じ傾向になっている。

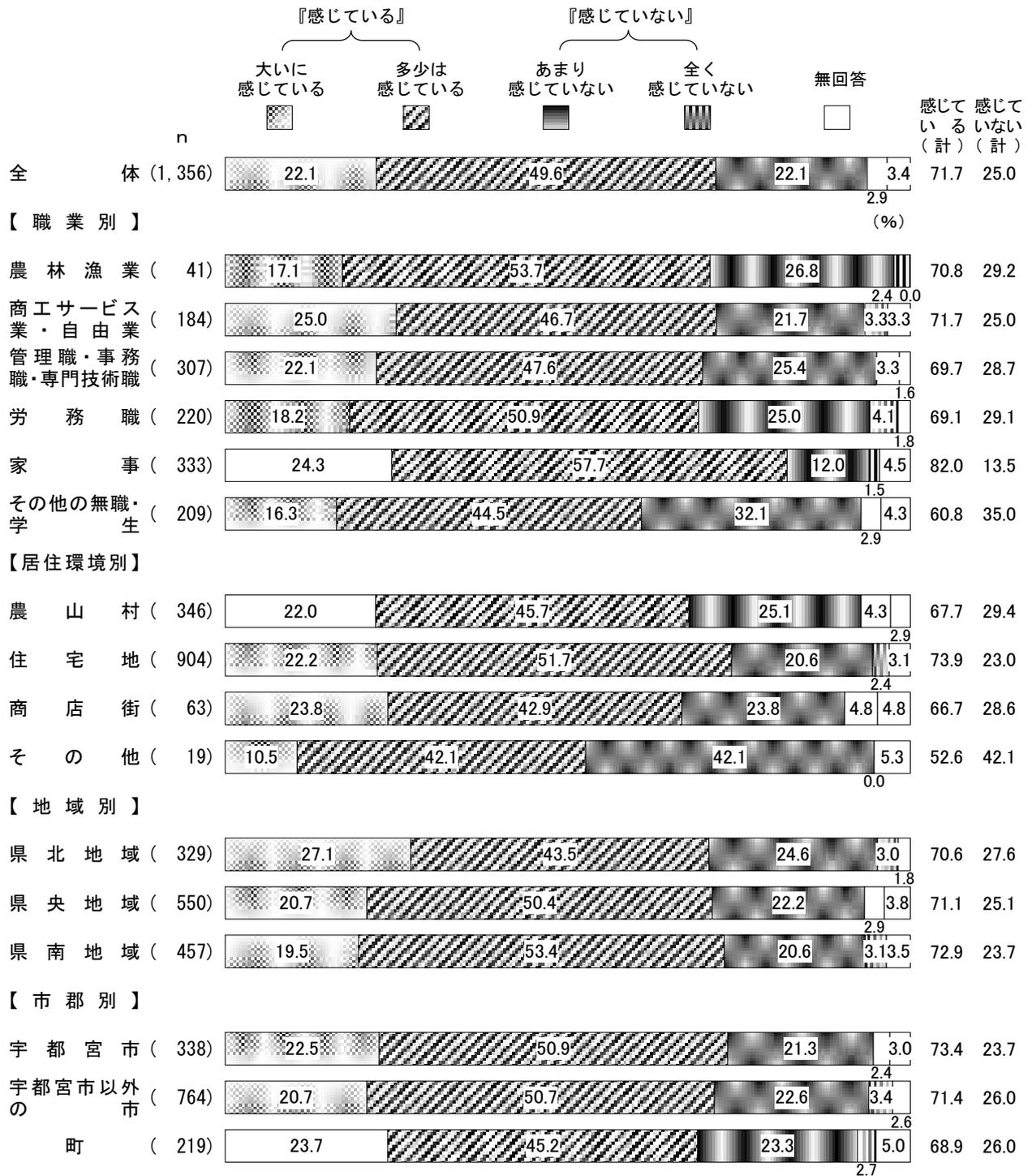
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『感じている』では〈女性〉(79.2%)が〈男性〉(63.4%)より15.8ポイント高く、男女間の差が大きくなっている。

性／年齢別でみると、『感じている』では〈女性の30歳代から65~69歳の各年代〉でいずれも8割以上と高くなっている。

〔職業別・居住環境別・地域別・市郡別〕



職業別でみると、『感じている』では〈家事〉が82.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、『感じている』では〈住宅地〉が73.9%と高くなっている。

地域別でみると、「大いに感じている」では〈県北地域〉が27.1%と高くなっている。

市郡別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(1-1) 食品の安全性について不安に思うもの

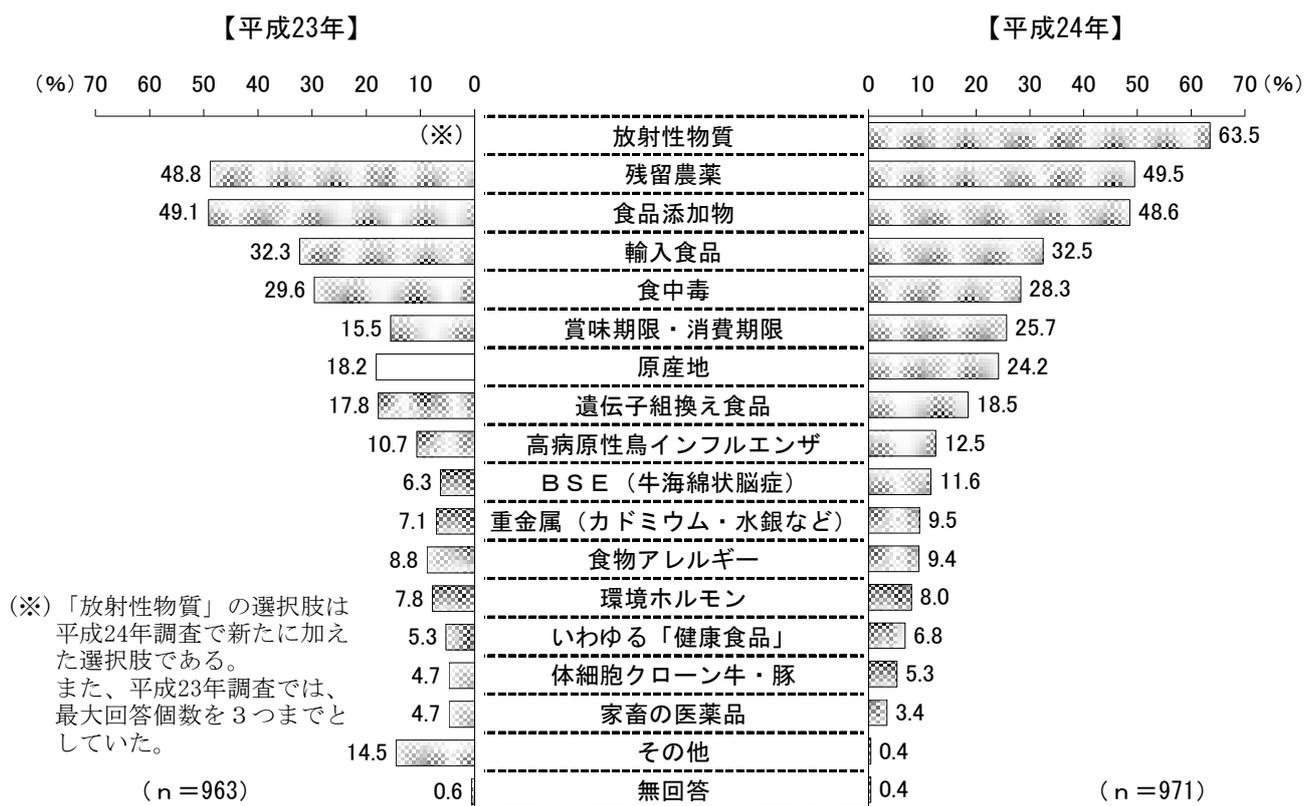
(問23で「大いに感じている」、「多少は感じている」を選んだ方のみお答えください)

問23-1 あなたは、食品の安全性のどのような部分について不安を感じていますか。

次の中から4つまで選んでください。

[n=971]

1	残留農薬	49.5%	10	重金属(カドミウム・水銀など)	9.5%
2	食品添加物	48.6	11	食中毒	28.3
3	環境ホルモン	8.0	12	いわゆる「健康食品」	6.8
4	遺伝子組換え食品	18.5	13	原産地	24.2
5	BSE(牛海綿状脳症)	11.6	14	輸入食品	32.5
6	高病原性鳥インフルエンザ	12.5	15	賞味期限・消費期限	25.7
7	体細胞クローン牛・豚	5.3	16	放射性物質	63.5
8	食物アレルギー	9.4	17	その他	0.4
9	家畜の医薬品	3.4		(無回答)	0.4

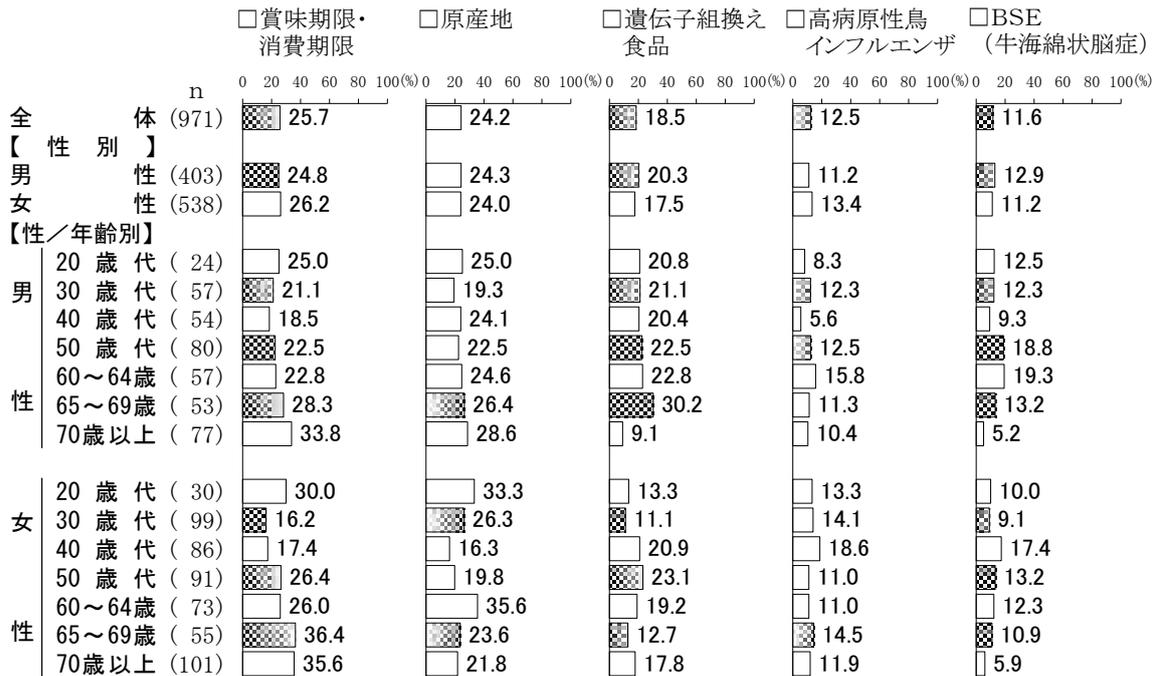
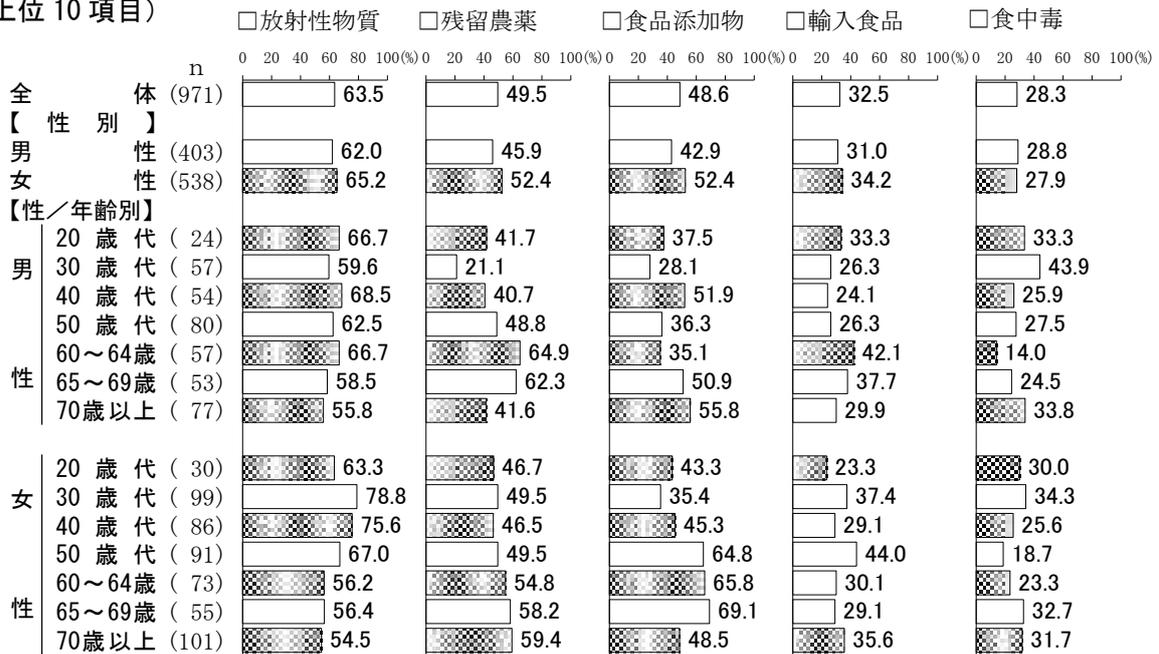


全体でみると、「放射性物質」(63.5%)が6割を超えて最も高く、次いで「残留農薬」(49.5%)、「食品添加物」(48.6%)、「輸入食品」(32.5%)、「食中毒」(28.3%)の順となっている。

前回(平成23年)の調査結果との比較は、選択肢および最大回答個数が異なるため参考にとどまるが、前回調査で上位4位までにあげられていた「残留農薬」、「食品添加物」、「輸入食品」、「食中毒」の割合に大きな変化はみられない。

[性別・性/年齢別]

(上位 10 項目)

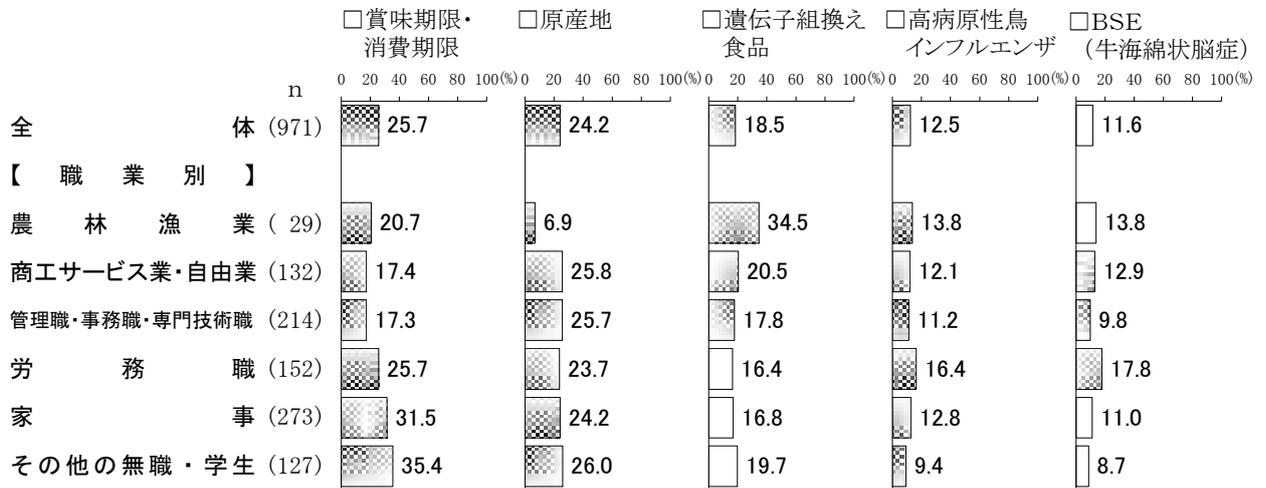
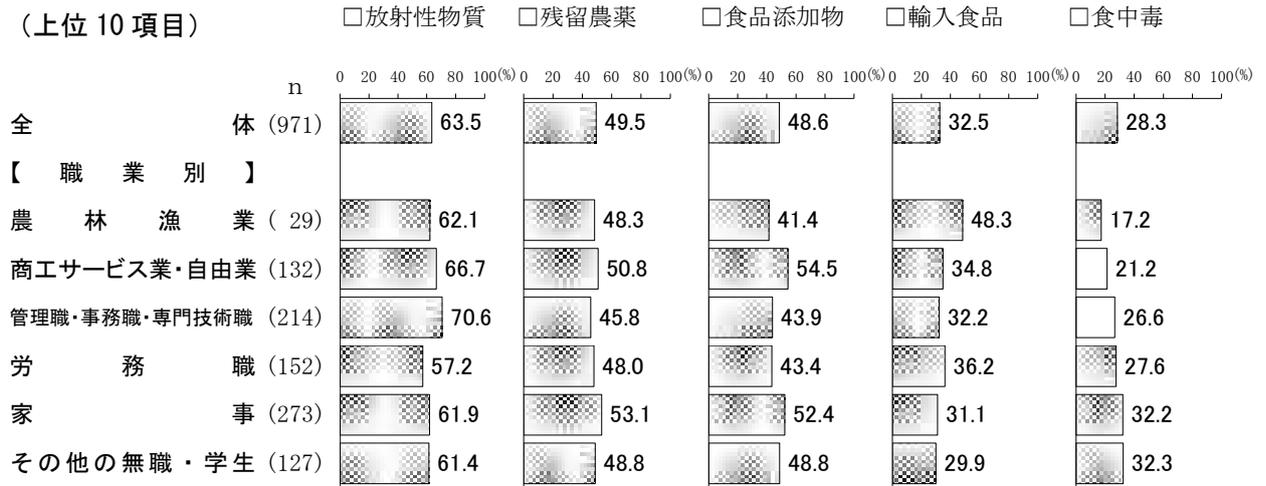


性別でみると、「食品添加物」では〈女性〉(52.4%)が〈男性〉(42.9%)より9.5ポイント高く、「残留農薬」では〈女性〉(52.4%)が〈男性〉(45.9%)より6.5ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「放射性物質」では〈女性30歳代〉が78.8%、〈女性40歳代〉が75.6%と高くなっている。「残留農薬」では〈男性60~64歳〉が64.9%、〈男性65~69歳〉が62.3%と高くなっている。「食品添加物」では〈女性の50歳代から65~69歳の各年代〉が6割以上と高くなっている。「輸入食品」では〈女性50歳代〉が44.0%と高くなっている。

[職業別]

(上位 10 項目)



職業別でみると、「放射性物質」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が70.6%と高くなっている。「食品添加物」では〈商工サービス業・自由業〉が54.5%、「輸入食品」では〈農林漁業〉が48.3%、「賞味期限・消費期限」では〈その他の無職・学生〉が35.4%、「遺伝子組換え食品」では〈農林漁業〉が34.5%と高くなっている。

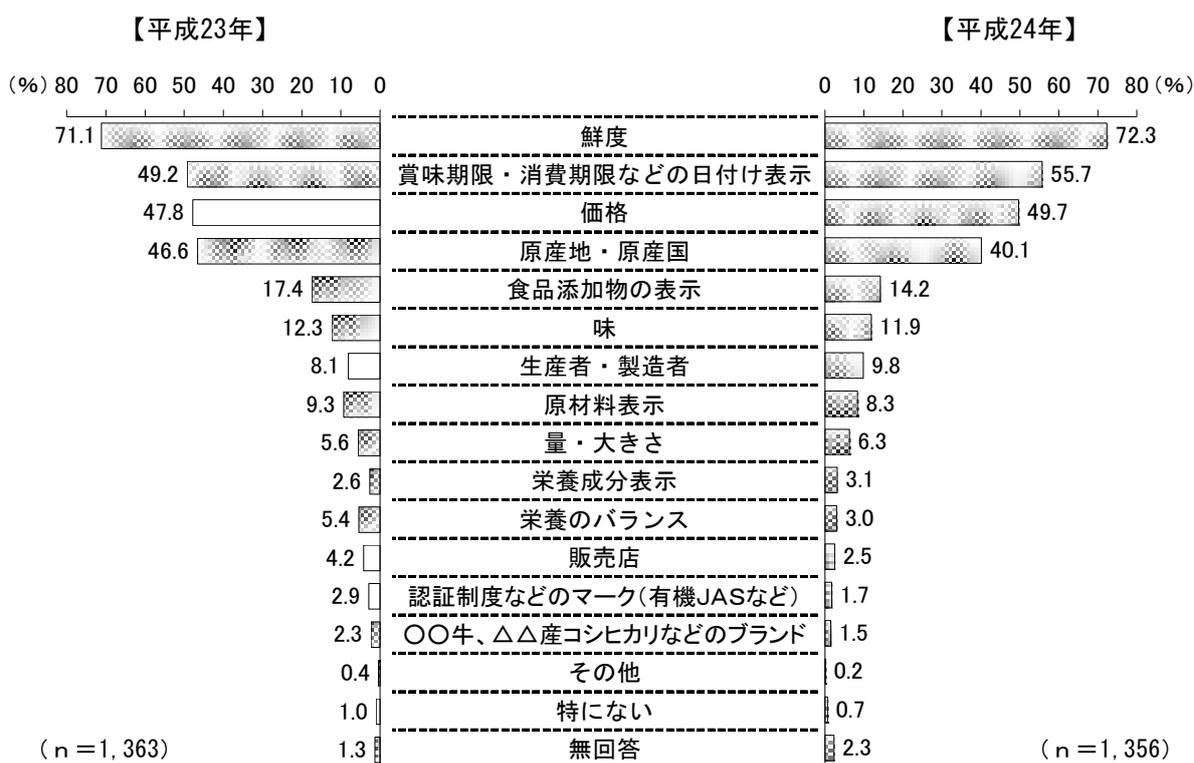
(2) 食品を購入するときに気を付けること

問24 あなたが食品を購入するときに気を付けることは何ですか。

次の中から3つまで選んでください。

[n=1,356]

1	鮮度	72.3%	9	生産者・製造者	9.8%
2	価格	49.7	10	販売店	2.5
3	味	11.9	11	栄養成分表示	3.1
4	量・大きさ	6.3	12	栄養のバランス	3.0
5	原材料表示	8.3	13	〇〇牛、△△産コシヒカリなどのブランド	1.5
6	食品添加物の表示	14.2	14	認証制度などのマーク(有機JASなど)	1.7
7	賞味期限・消費期限などの日付け表示	55.7	15	その他	0.2
8	原産地・原産国	40.1	16	特にない	0.7
				(無回答)	2.3

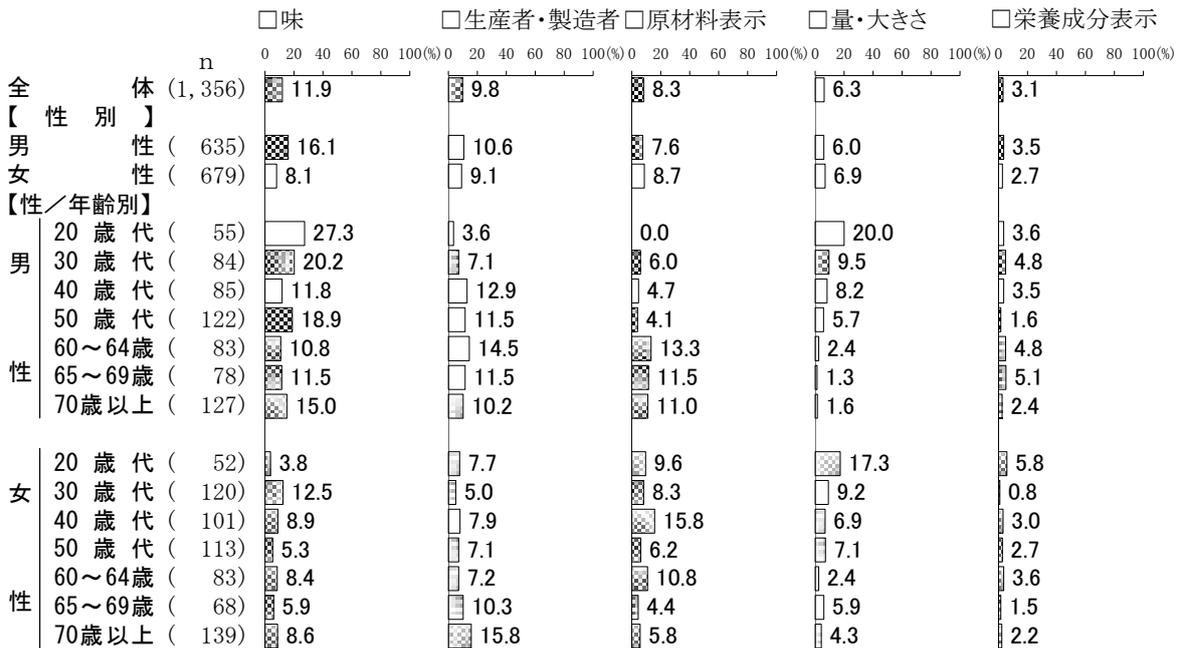
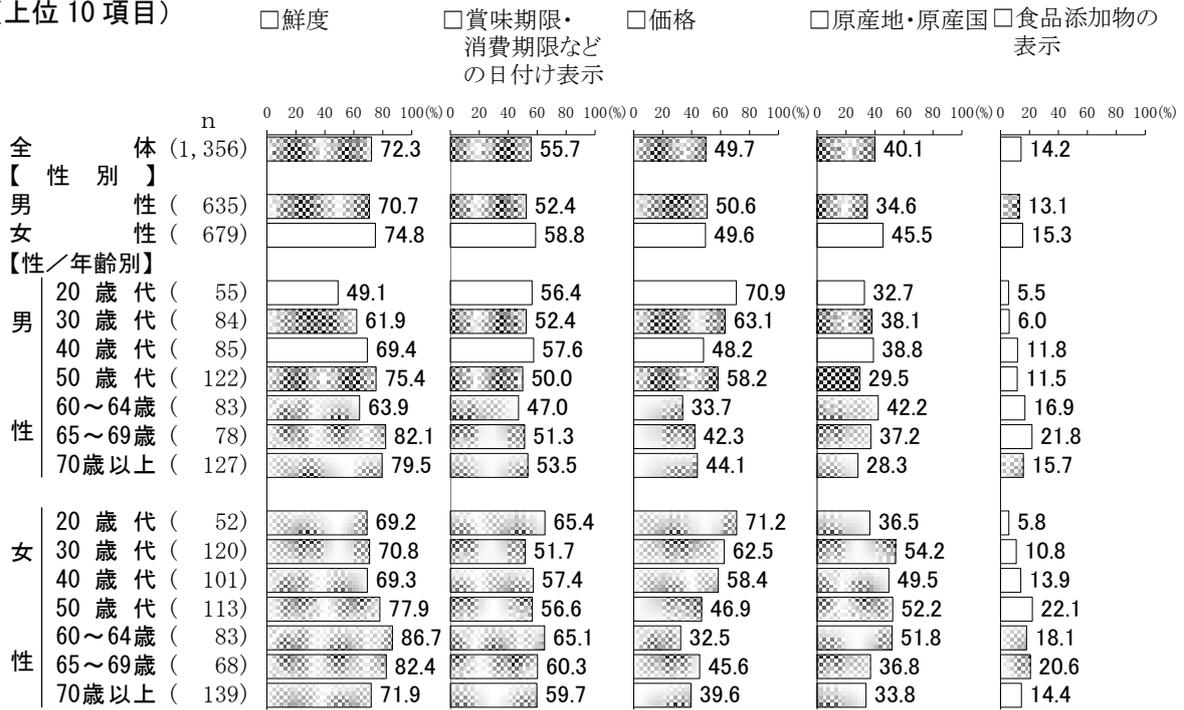


全体で見ると、「鮮度」(72.3%)が7割を超えて最も高く、次いで「賞味期限・消費期限などの日付け表示」(55.7%)、「価格」(49.7%)、「原産地・原産国」(40.1%)の順となっている。

前回(平成23年)の調査結果と比較すると、「賞味期限・消費期限などの日付け表示」は6.5ポイント増加し、「原産地・原産国」は6.5ポイント減少している。

[性別・性/年齢別]

(上位 10 項目)

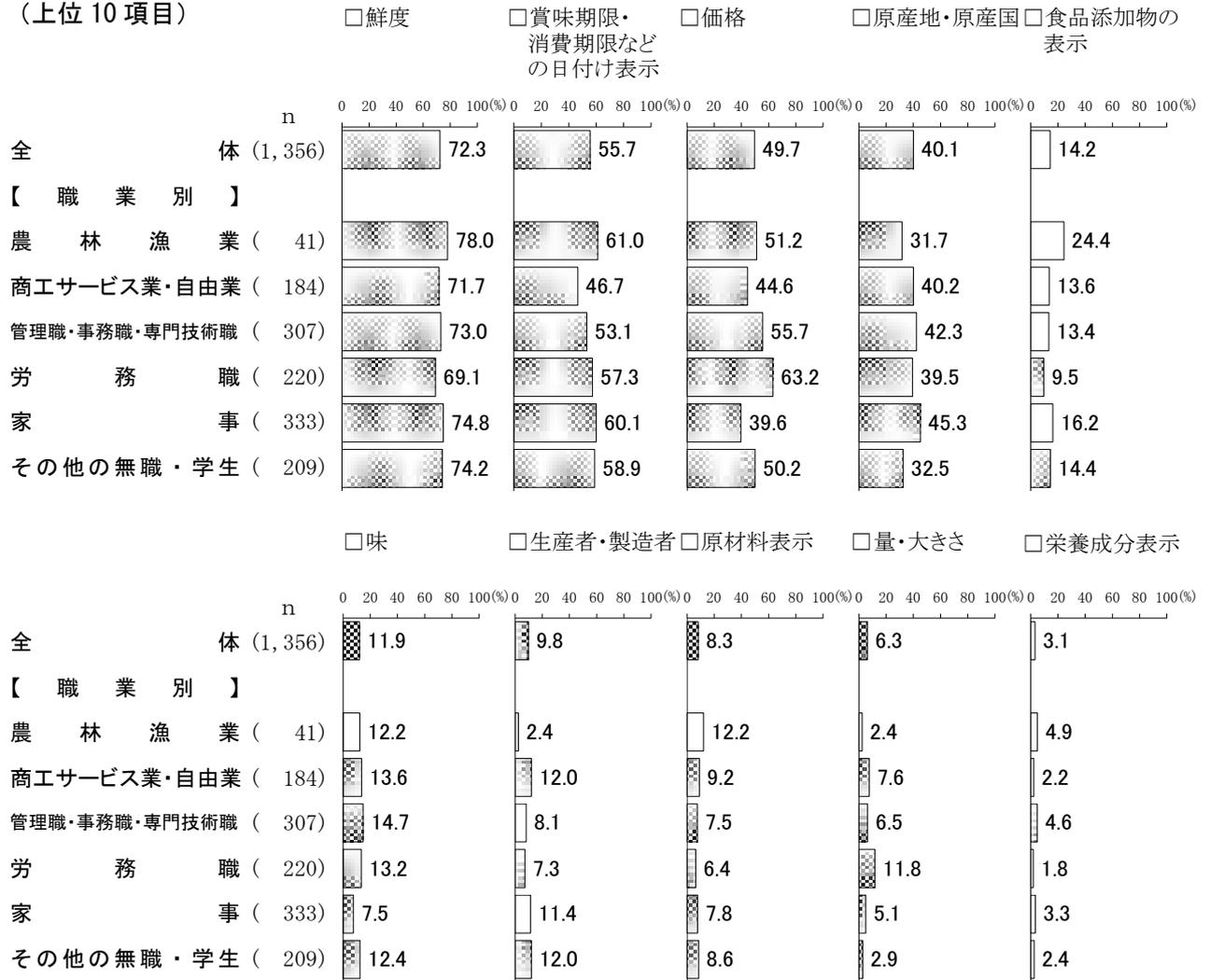


性別で見ると、「原産地・原産国」では〈女性〉(45.5%)が〈男性〉(34.6%)より10.9ポイント高く、「味」では〈男性〉(16.1%)が〈女性〉(8.1%)より8.0ポイント高くなっている。

性/年齢別で見ると、「鮮度」では〈女性60~64歳〉が86.7%と高くなっている。「価格」では〈女性20歳代〉が71.2%、〈男性20歳代〉が70.9%と高くなっている。「原産地・原産国」では〈女性30歳代〉が54.2%、「味」では〈男性20歳代〉が27.3%と高くなっている。「量・大きさ」では〈男性20歳代〉が20.0%、〈女性20歳代〉が17.3%となっている。

[職業別]

(上位 10 項目)



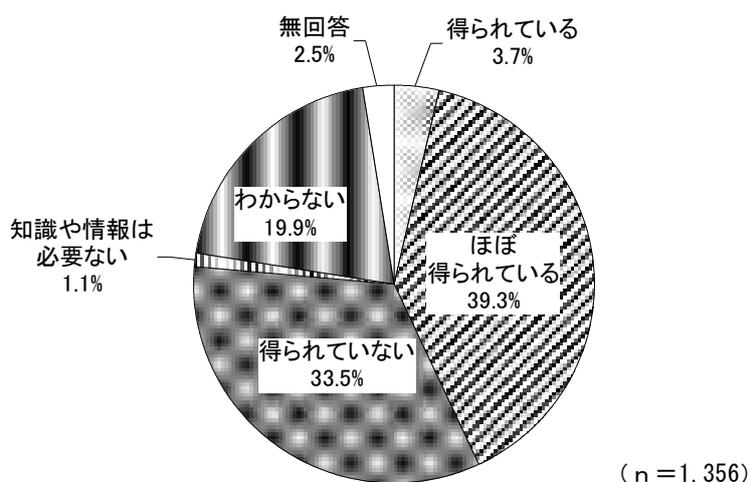
職業別でみると、「価格」では〈労務職〉が63.2%と高くなっている。「原産地・原産国」では〈家事〉が45.3%、「食品添加物の表示」では〈農林漁業〉が24.4%と高くなっている。

(3) 食の安全に関する知識や情報の取得

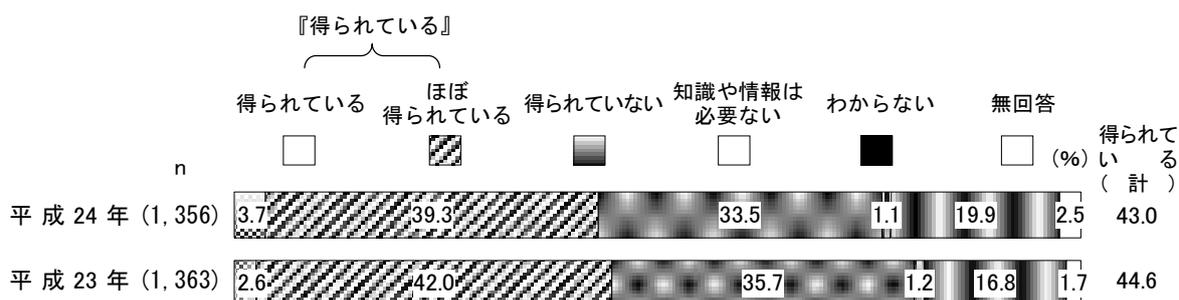
問25 あなたは、食の安全に関する正しい知識や情報を得られていると思いますか。
次の中から1つ選んでください。

[n=1,356]

1	得られている	3.7%	4	知識や情報は必要ない	1.1%
2	ほぼ得られている	39.3%	5	わからない	19.9%
3	得られていない	33.5%	(無回答)		2.5%

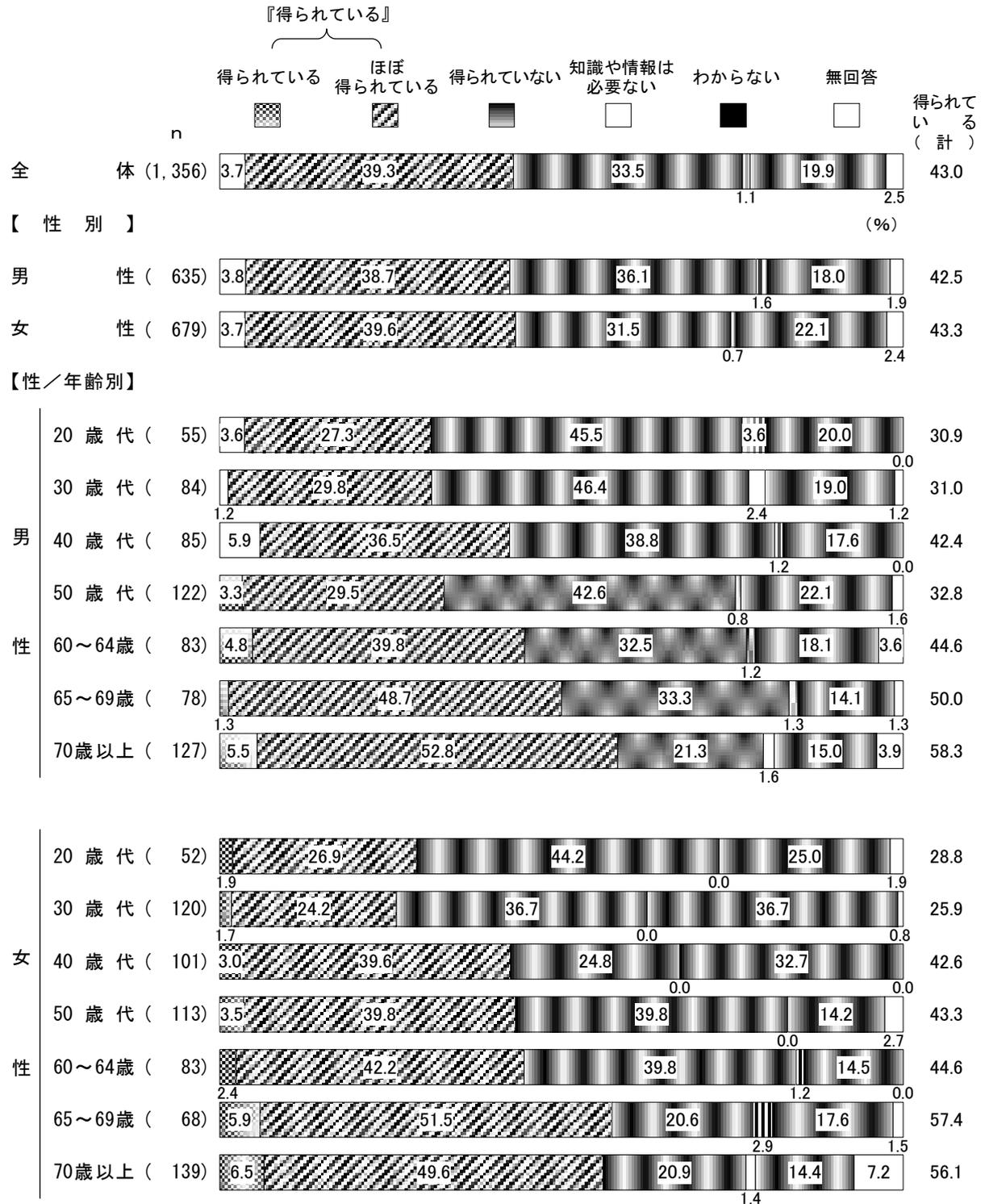


全体で見ると、「得られている」(3.7%)と「ほぼ得られている」(39.3%)の2つを合わせた『得られている』(43.0%)は4割を超えている。一方、「得られていない」(33.5%)は3割を超えている。



前回(平成23年)の調査結果と比較すると、ほぼ同じ傾向になっている。

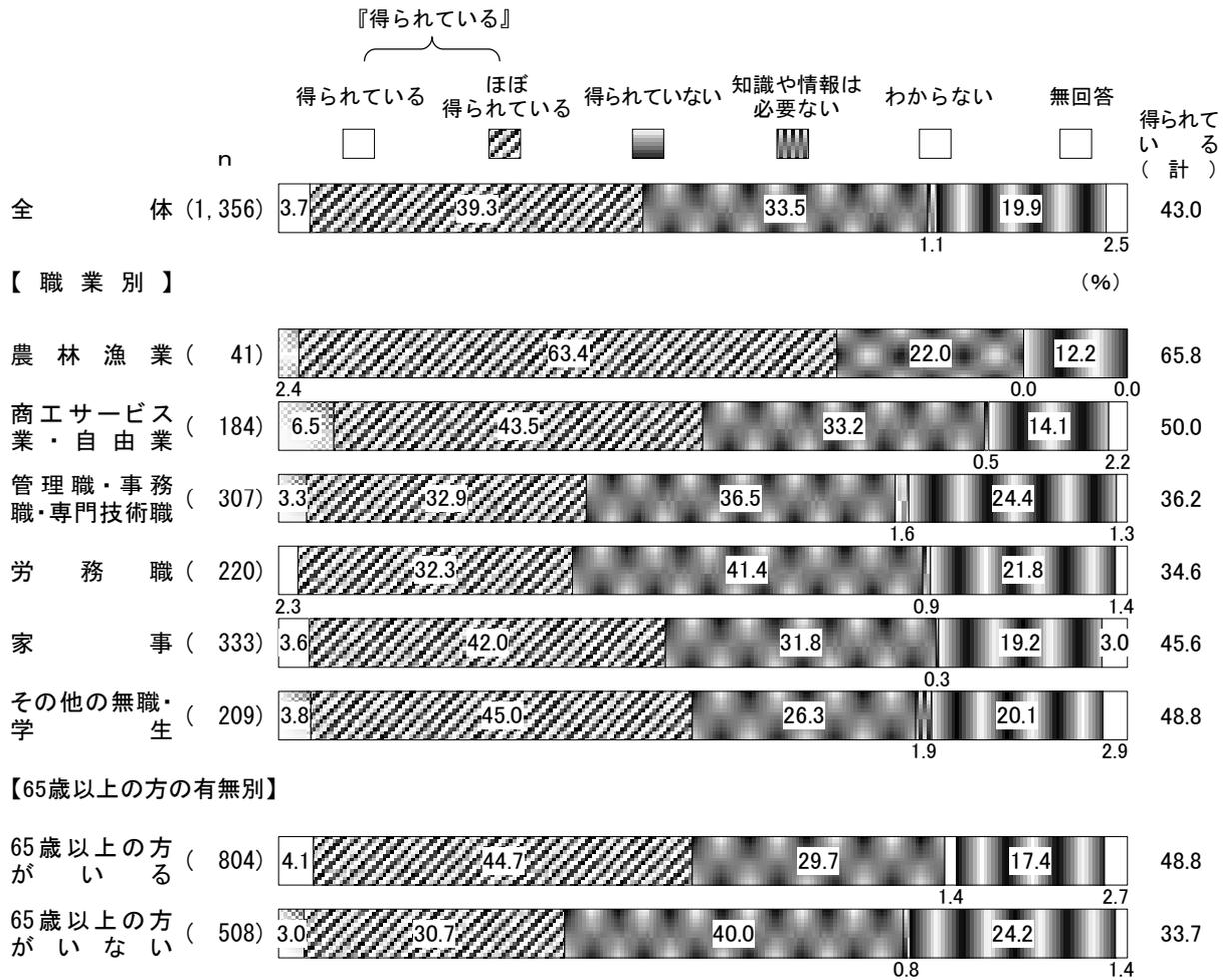
【性別・性／年齢別】



性別でみると、「得られていない」では〈男性〉(36.1%)が〈女性〉(31.5%)より4.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『得られている』では〈男性70歳以上〉で58.3%、〈女性65~69歳〉で57.4%、〈女性70歳以上〉で56.1%と高くなっている。

【職業別・65歳以上の方の有無別】



職業別でみると、『得られている』では〈農林漁業〉が65.8%と高くなっている。「得られていない」では〈労務職〉が41.4%と高くなっている。

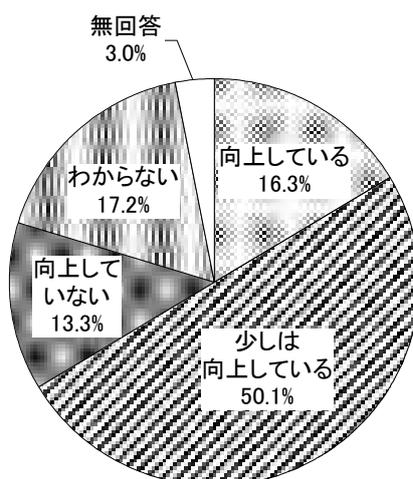
65歳以上の方の有無別でみると、『得られている』では〈65歳以上の方がいる〉(48.8%)が〈65歳以上の方がいない〉(33.7%)より15.1ポイント高くなっている。

(4) 食品の安全性の向上

問26 食品の安全性は向上していると思いますか。次の中から1つ選んでください。

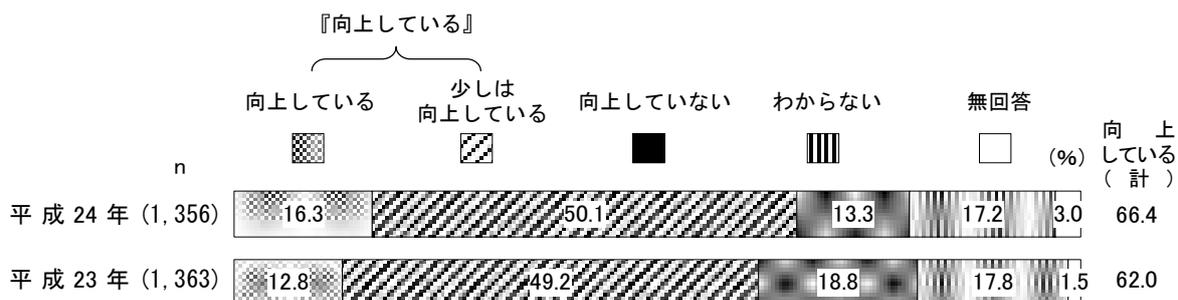
[n=1,356]

1	向上している	16.3%	3	向上していない	13.3%
2	少しは向上している	50.1	4	わからない	17.2
				(無回答)	3.0



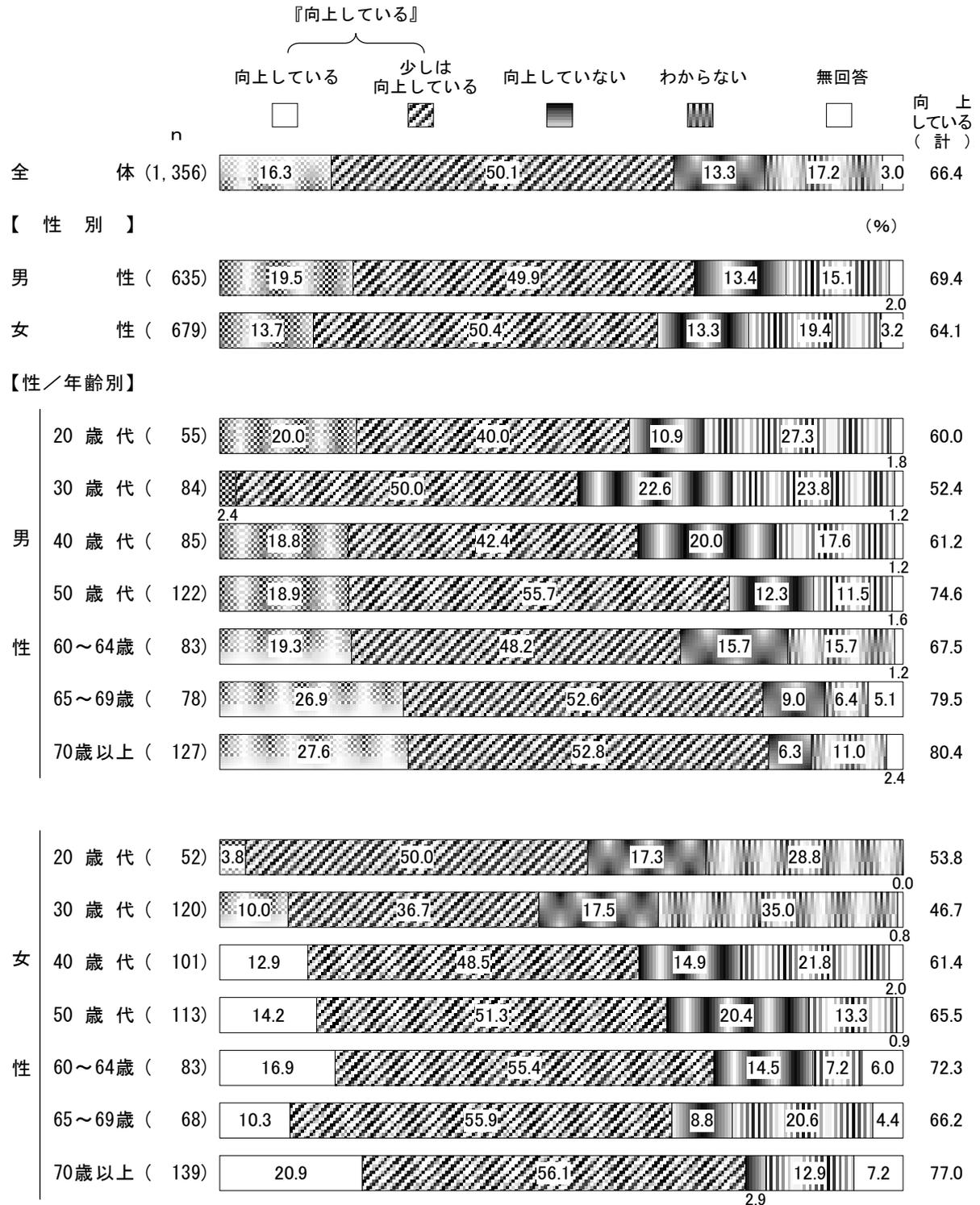
(n=1,356)

全体で見ると、「向上している」(16.3%)と「少しは向上している」(50.1%)の2つを合わせた『向上している』(66.4%)は6割半ばとなっている。一方、「向上していない」(13.3%)は1割を超えている。



前回(平成23年)の調査結果と比較すると、『向上している』は4.4ポイント増加し、「向上していない」は5.5ポイント減少している。

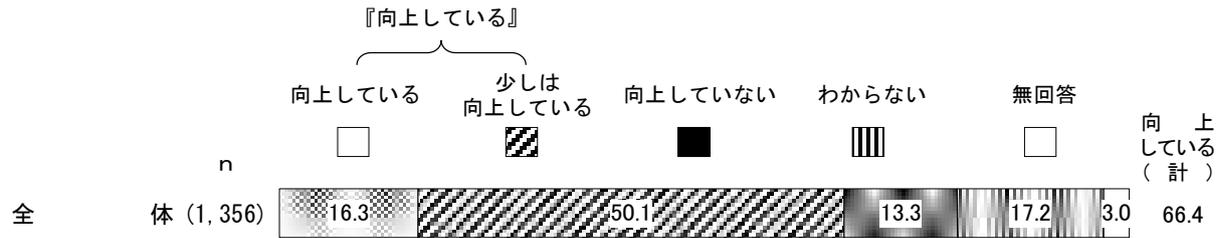
【性別・性／年齢別】



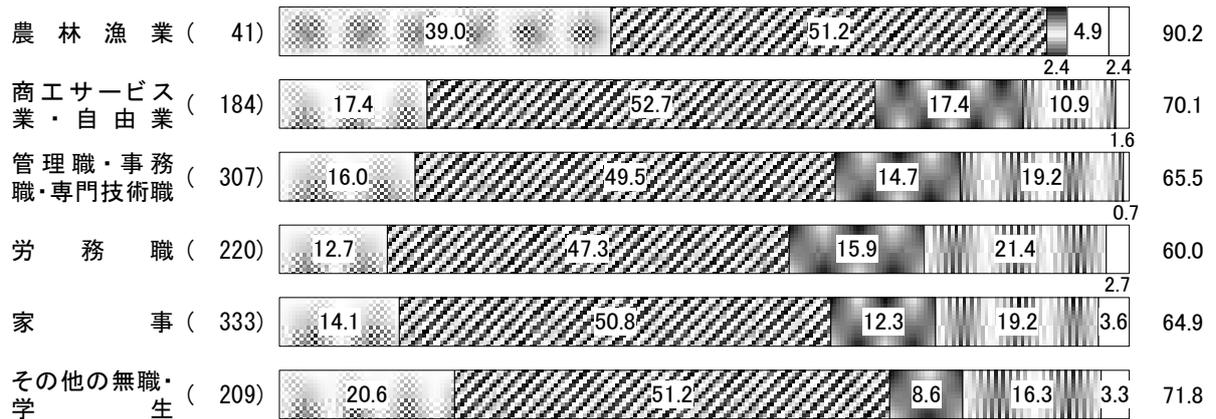
性別でみると、『向上している』では〈男性〉（69.4%）が〈女性〉（64.1%）より5.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『向上している』では〈男性70歳以上〉で80.4%、〈男性65～69歳〉で79.5%、〈女性70歳以上〉で77.0%と高くなっている。

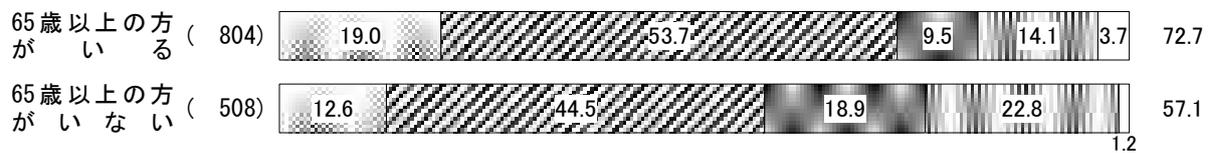
【職業別・65歳以上の方の有無別】



【職業別】



【65歳以上の方の有無別】



職業別でみると、『向上している』では〈農林漁業〉が90.2%と高くなっている。一方、〈労務職〉が60.0%、〈家事〉が64.9%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が65.5%と低くなっている。

65歳以上の方の有無別でみると、『向上している』では〈65歳以上の方がいる〉(72.7%)が〈65歳以上の方がいない〉(57.1%)より15.6ポイント高くなっている。